

# 2020年度 法人事業報告

社会福祉法人 露の会 法人本部

## 1. コロナ感染症対策について

一昨年末に中国で広がった感染は全く間に世界中に拡散し、感染者は世界で1億1378万人（1.5%）日本で43万人、死亡者は253万人（感染者の2.2%）日本で7,900人（感染者の1.8%）になりました。

政府のPCR検査なし、GoToキャンペーンなどのチグハグな対策で感染が拡大し、医療崩壊や多くの生活苦を招きました。

法人としては、全施設の職員・利用者に基本的な感染防止対策をお願いすると共に、その対策費用の申請を促し、職員の休業補償等の対応をしました。

更に、毎月の施設長会で、それぞれの取組み状況を報告しあい。相互に改善に努めました。

2月に行った全職員の振り返り研修の報告書でも、法人のお願いが理解され、利用者、職員の感染予防のため職員の皆さんが協力し合ってもらえたことがよくわかりました。その結果として、法人全体で、感染された人（疑いのある人）はいませんでした。

## 2. 新規事業の取組みについて

- 1) 東京都のソーシャルファームについて都主催の説明会等に参加し、検討を進めて来ましたが、産廃等の新規事業の具体化の目途が立たず、2020年度内の申請に至りませんでした。改めて2021年度に申請すべく準備を進めます。
- 2) ひのき工房、リサイクル事業部の古紙回収有料化が実現し、安定稼働しています。お助け隊は、まだ試行錯誤の段階ですが、お庭の剪定、草刈りは、かなりの経験を積み、お片付、整理、ゴミ出しに引っ越しまで、作業の範囲を拡げながら、見積もり、アピール（宣伝による開拓）など検討しています。
- 3) 東京都のSDGsバッチの受注に向けて検討中ですが、もし受注できれば1件で1,000万円のオーダーという、初めての経験で今後の展開が楽しみです。

## 3. 施設課題の取組み

### 1) ふきのとう

- ① 障害福祉事業収入が、生活介護、就労継続Bの利用者定員によってどうなるかケース毎に精査し、生活介護20名が現実的であり、今後具体化に向けて検討していく。
- ② 希望する利用者・家族の意見も参考に聴きながら収支等全て試算してどんなG.H.にすべきか詳細な検討や家族へのアンケートを実施したが、期待しているとの感想で、特にGHを作ってくれとの意見はなく、以下の課題を継続議論していく。
  - ・障がいの重い人は、GHには入れない。
  - ・最後は、病院に入るか、なくなるまで施設で過ごすことにするのか。
  - ・終の棲家と公言して運営しているG.Hもある。

### 2) ころぼっくる

今の事業運営にあった職員体制に戻し、収支の赤字解消を行い、黒字化に向けた事業展開の方針について検討を開始した。

### 3) ひのき工房

就労支援事業の収入増のため以下の対応を進め収益増となった。

- ・リサイクル事業の有料回収化
- ・おたすけ隊の定着化
- ・イベント中止による売上減対策として遮蔽板など受注生産に注力

#### 4) とぶきふねん

市職員より「雰囲気が悪い」等の指摘を受け、理事長が毎回出席して職員会議を開き、スタッフ全員の担当を決め、毎日全員が、一言でも報告する体制にし、報連相の徹底を図るなどして、改善に向かっている。

#### 5) ぽぷら八王子

メンバー支援体制の確立と採用定着のための施設長業務に専念しできるように職長の育成も行ったが、生産増もありまだ達成できていない。

継続して、職員やメンバーの採用・育成を進め、施設長業務に時間がとれるようにしていく。

### 4. 職員の労働条件の改善

- 1) 毎年2%以上の賃金改善をしていますが、まだまだです。今後も改善するために何をすべきか各施設に対して具体的に示していきます。
- 2) 国の“働き方改革”に対応するため、正規・有期フルタイム、有期短時間、障がいのある職員、嘱託職員、それぞれの職務内容、職務権限、勤務条件等が比較できる一覧表をひのき工房、ひのき職員をモデルに作成し検討を行い、現状は法的には問題のないレベルであることを確認しました。今後は、未作成の職務記述書等の作成を行い、給与体系の見直しを進めて行きます。

### 5. 職員研修

- 1) 次を担う中堅職員研修に力を入れ、外部講師による研修も行うことが出来た。
- 2) 「チームOJT」の理解を広めるため、3施設で進めてきたOJTの成果報告会を行った。一部で「職員間のチームワークが改善された」とのうれしい報告も聞かれた。

### 6. 施設環境整備

今年は、コロナで委員による巡回は中止し、各施設からの報告レポートをまとめて配布した。

### 7. 地域貢献

- 1) 昨年も台風、集中豪雨により全国各地で大きな被害が発生し、無傷だった私達は御見舞の寄附を募り多くの皆さんの協力で、175,861円集まりました。
- 2) 子ども食堂も食事会を中止し、途中から食材配布に切り替えましたが、参加した多くの主婦に配布出来ました。

### 8. 法人設立20周年に向けての記念誌作成

記念誌の作成を進め、形にすることが出来た。今後は、更に、内容を精査しながら完成を目指して編纂を進めて行きます。

### 9. コロナ下でネックとなる本部と施設間業務のマニュアル化を行いました。

特に、給与、会計業務や本部と施設間で必要な作業や知識のマニュアル化を進めた。

- ・財務会計運用・決算仕訳マニュアル
- ・給与の運用マニュアル
- ・本部年間業務マニュアル等